公開用シラバス

高等学校保健体育科の授業シラバス

教科	科目	学年	履修	実授	教科書	副教材など
	名等		形態	業数		
保健	保健	高 2	必修	28	現代高等保健体育 (大修館書店)	
体育						

文 I • Ⅱ, 理 I • Ⅱ, 特進 B, 国際

1 学習目標

年間 学習 目標 生涯を通じて健康に生きるために、多様な健康課題を知る。

性に関わる内容や、社会問題については、自己の生活におきかえて考えることのできるように取り組む。

2 授業進度

	1 学期	2学期	3 学期			
	自身の身体について、また異性につい	思春期において、また生涯の生活のなか	思春期における心身の発達や健康問題に			
2) 4 7 7 7	て、生物としての正確な知識を持つ。加	で、心身が変化することを形態面及び機	ついて、特に性的成熟に伴い、心理面、			
	えて思春期に起きうる多様な変化を理	能面から理解できるようにする。正しい	行動面が変化することを中心に理解で			
学習内容	解する。法律や社会福祉における基本的	思考・判断を可能にするため、グループ	きるようにする。			
1 1 1	な知識を身につける。	ワークや社会での取り組みを積極的に	加齢や社会問題に関して、自分の生活に			
		取り入れるようにする。	置き換えて思考・判断できるような取			
			り組みをする。			
	思春期と健康	高齢者のための社会的取り組み	環境問題と健康			
備考	結婚生活と健康	医療制度	労働・食品衛生			
	妊娠・出産					

*なお、状況に応じて、若干の変更を行うことがある。

3 評価の対象と基準

評	知識・技能	語句問題等の筆記試験 パフォーマンス評価		知識•技能	学期 学年	A+A	A I	3 (C	C C- 5段階 3段階	総合証	・観点別評価を基 に、各学期 10 段階 で総合評価 ・各学期評価に基
価対象・方法	思考・ 判断・ 表現	語句問題、グラフや読み取り問題による筆記試験	評価基準	思考·判 断·表現	学期学年	A+A	A I	3 (C	3 反 C - 5 段階 3 段階	評価・評定の算出	・谷子期評価に基づいて年度末5段階評定・観点別の配分比率は次の通り
	主体的学習態度	グループワークによる発表や、振り返りレポートなどの評価、および「出欠席」	準	主体的 学習態 度	学期学年	A A	ВВ	C C	3 段階 3 段階		知識等: 思考等: 主体的態度 = 4:4:2

^{*} 紙幅の関係上、観点別目標、学習範囲の個々の事例については省略・略記している。